

KANAGAWA



社団法人 神奈川県建築士事務所協会

URL <http://www.j-kana.or.jp/>

E-mail info@j-kana.or.jp

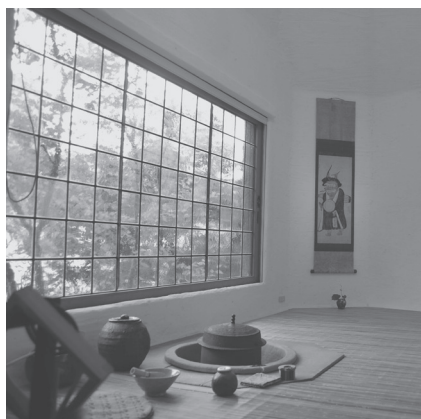
2010 年
11 月号

VOL.349



HP情報

○ドライクリーニング工場に係る調査状況並びに引火性溶剤を用いるドライクリーニング工場に係る建築基準法用途規制違反への対応及び同法第48条の規定に基づく許可の運用に関する技術的助言について



目次

① 建築探訪

③ 会員建築作品紹介

⑤ 知って得する木造住宅の知識（10）

⑥ 設計の妥当性確認業務について

⑦ 建築・住まいるフェスタ2010 開催報告

⑧ 神事協スポーツ大会 開催報告

旅のクイズ

⑨ 第35回建築士事務所全国大会（東京大会）報告

⑩ 理事会報告

⑪ 委員会活動報告

⑫ 神事協 歌壇・俳壇

本の紹介

⑬ 事務局便り

編集後記

一夜亭

県西支部 松井 正



スロープ上の坂道を登ると周りの木々に溶け込むようにひっそりと山門がある。この山門を潜るような気分で敷地内に入ると明らかに空気の質が変わった事に気づいた。

第79代内閣総理大臣を歴任された細川護熙氏の邸宅、工房の不東庵、茶室の一夜亭がある湯河原の山々に囲まれたこの地を訪れた私の第一印象である。

まず最初に興味を引いたのが中庭を囲むように絶妙な空間構成された建物群の配置計画である。

そして程よい塩梅で手入れされている木々に囲まれた露地のような小道を歩いた先に、非常に重要なファクターになっている中庭に入る。雑誌で拝見していたよりもずっと小さく感じたが、スケールの的にも心地よく感じる大きさなのではないかと思った。このように感じられる要因を整理してみると、中庭にある手水鉢に温泉が引かれていることで視覚的にも聴覚的にもこの水の流れが心を落ち着かせ豊かな気分させる装置となっている事と、中庭に勾配を取っている不東庵の軒先が低く、押えられ中庭の求心

性をより強めているためだという事が言える。

まさにへそのようなスペースになっている。

邸宅、一夜亭、不東庵とも素敵な建築であるが原稿の字数の関係で今回の探訪では茶室の一夜亭について書かせていただく。

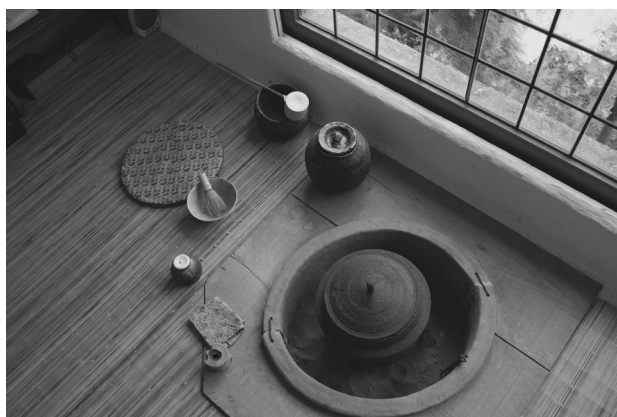
一夜亭は山の斜面に建ち掘立柱の上に建っていたり、エントツみたいなものがあったり、大きな窓があたり、給仕口も兼ねたフランスのシュラク元首相を迎え入れるための大きめのじり口等、茶室のカテゴリーとは若干異なるその外観からしても不思議な雰囲気醸し出している。

その一方でこの茶室が裏山に接するように建っている事で、一連の藤森建築の中でもより自然と有機的に融合して

いるように思われる。それは桧皮葺きで葺いた屋根にコケが生息している事も大きく貢献しているように思う。

また何といってもこの建築の最大の特徴である建物が、掘立柱で浮いている事である。湿気対策は無論のこと小

石を転がしたような露地のような階段と併せて日常から非日常への変換装置にもなっている。



内部空間の方に目を向けると床（とこ）と水屋がなく畳でなくゴザが敷かれトップライトがある。窓には手吹きガラスが入りそこからフィルターのような前面の樹木の枝が見える。壁と天井を漆喰で塗り回し、壁と床の取り合いを曲面で仕上げている事が、洞窟のような安心感を得られ、いつまでもそこに滞在したく帰りたくないと感じる良質な空間であった。また変形5角形の平面のほぼ真ん中に炉が切られており、そこには微妙な客と亭主の新しい領域をも感じた。

実際の施工に関しては俳優座の大道具の人達が別の場所で制作した屋根、壁、床をパーツ化したものを1日で造り、仕上げは藤森建築にはお馴染の赤瀬川源平氏、南伸坊氏らが率いる縄文建築団が担当した。

ディテールに関しては屋根が二重構造、窓の水抜きの納まり、掘立柱と建物の接続方法等、非常に練られた入念な納まりになっている。

現在の数寄者の先頭を走る細川氏と建築史家で建築家でもある藤森氏の見事なコラボレーシ



ョンと、様々な人達の活躍で珠玉の建築が完成したと想像される。

最後に設計者の藤森氏に関してだが、茶室に関してはこの一夜亭から始まり高過庵そして最新宙に浮く泥舟、海外の入川亭、忘茶舟と、ある境地のところまで達している。

磯崎新氏の指摘されるとおり千宗旦にたとえられる流れのままで貫くのか、それともコルビュジェや篠原一男のように晩年は全く異なるアヴァンギャルドに移行するのか興味は尽きない。



建築デザイナー

一夜亭

所在地：足柄下郡湯河原町

設計：藤森照信+大嶋信道

施工：縄文建築団+俳優座劇場

建築面積：6.4㎡

延床面積：6.4㎡

階数：地上1階

構造：木造 パネル工法

表紙のことば

謝 辞

一夜亭をはじめとする細川護熙氏の建築群を見学する事は困難を極めますが特別に見学の許可を得る事が出来まして幸福な時間を体感することが出来ました。

大津絵を掛けていただいたり茶器や釜等、名器を置いて下さりこの上ないおもてなしを受けました。

細川護熙氏はもとより、本会の広報情報委員の稲葉氏、高橋電気商会の高橋氏、そして非常に多忙の中、御案内していただいた(株)不東の山沢氏には大変お世話になりました。

この場をお借りしましてお礼を申し上げます。

注意：この建築は非公開であり見学する事はできません。

表紙の写真 右上：一夜亭の外観 左上：不東庵外観 左下：一夜亭の内観

会員建築作品紹介



11号棟「グリーンシード鈴木ビル」

横浜支部 (株)大野設計事務所 大野 浩昭

■計画概要

用 途: 店舗・事務所

構 造: 鉄骨造5階建

建築面積: 152.63㎡

延床面積: 629.69㎡

5階建てのこの建物は、本街区（戸塚パルソ）の北側、新たな公益施設の建設予定地とバスターミナルを結ぶ幅6メートルの歩行者専用通路の中程に位置する。この街区の中で唯一前面道路の斜線をまともに受け、3階より上部は歩行者の視界に入りにくい形態となっている。したがって、1-2階部分にビルとしての存在感を持たせる意匠的な工夫が必要であった。この再開発では我々が関わる以前の早い時期から、概略の基本設計が提示されており、それに従って全体計画が行われていた。幸いにも、地権者が街区のデザインに造詣が深く、ビルへの出入口部分を商業ビルらしい空間として、街に貢献できないかという提案を頂き、当初の基本設計を変更し、エントランス部分に2階店舗に通じる階段を設けることで、街区に変化を持たせ、商業エリアの活性に寄与することが出来たのではないかと考えている。また、このビルの5階には、オーナーの営む小さなカフェ&フラワーショップがあり、セットバックによってできたルーフバルコニーに、ハーブが沢山植えられ、街区の中で別世界の雰囲気を出した異空間となっている。前出9月号で触れられたように、エントランス部分について、10号棟とエントランススペースを共有し、空間を演出する事については、既に位置が決まっていた電気設備の移設先の問題等で十分な解法を導き出していない部分があり、今後の展開の中でより良い解法を模索していきたい。このように12棟の建物が同時に計画され、各設計者がチームとして問題を共有しながら解決策を模索する手法は、地権者が再開発内のビルを所有するという全国的に見ても

珍しい再開発のプロトタイプとして、一つの方法論を提示したものと確信している。また手法としては、かなり早い段階で全体をコーディネートし、街区の何処にどのようなパーツを分散させていく事が可能なのかを検討し、具体的な街区計画を決めてから個別の設計に入っていく事が、本来望ましいと感じた。しかし反面、計画をとりまとめ、地権者間の合意を得る為に要する時間と費用は膨大なものとなり、また新たな問題となる事も事実であろう。再開発以前の街区は、自然発生的に増殖していったフラクタルでプリミティブな形態を成していたが、これを人為的に造りこむ事は不可能である。今後公益施設の完成と共に、人の動きも、この街区の様相も変わってゆくものと考えられ、更に街区として発展、成熟する事を望んでやまない。



11号棟外観

会員建築作品紹介



5号棟「戸塚駅西口再開発個別活用ビル」

横浜支部 佐藤 光良

私が担当したビルは交通広場側の角地です。西口駅前ビルトツカーナモール3階出口から出るとすぐ目の前に見えます。2方向に広場と通路があるおかげで、開口部を多く取ることが出来、かなり明るく開放的なプランを設計することが出来ました。

構造規模は、S造、5階建塔屋1階・延面積822.37㎡で、各階の用途が1階は美容室、2階は旅行代理店、3階は眼科医院、4階は税理事務所に建築主の書斎、5階が建築主の自宅で屋上は切妻屋根と機械置場の陸屋根になっています。開発前は戸塚駅西口出口のすぐそばに住んでいたので、再開発については個別活用を選ばれたとのこと。

南側に同じ階数のビルが建っているので、5階の自宅については吹き抜けを多用しトップライトとサイドライトを採用して明るさを確保しようと計画しましたが、建築主ご夫妻と母上がとても喜んでくれたので、まずは成功したのかなと自負しております。

ペDESTリアンデッキが2階の床レベルにあるのでこのビルには避難階が1階と2階になります。そして1階と2階には設計段階から別々のテナントが入る予定になっていたもので、1階と2階を繋ぐ階段を省略して店舗貸面積を増やすことにしました。個別ビルの中では私だけが採用したプランですが、工事中は不便でしたがビル経営としたらメリットがあったと思います。階段を屋内にして広場と通路側に大きく開口部を取りました。その

ため2階以上は2方向からの明るさと通風性が居住環境の快適性を高めています。

建築主とは初対面の時から息が合い、しかもPCを扱える方でしたので日頃の打ち合わせはメールで行う事が出来、建築主の注文や課題を箇条書きで分かりやすく求めて来ましたので、意思疎通に齟齬をきたすことが少なく設計はとてもスムーズに進み、竣工時には御家族の笑顔が嬉しい建築家冥利に尽きる仕事でした。

建築主はまちづくり協議会の会長でもあり此の個別ビル群パルソの発展に心血を注いでいます。これからますますこのパルソが多くの方達にとって居心地が良い商店街になることを願っております。尚最後に、この仕事では賛助会員の「日立ビルシステム」の9人乗り住宅用DX仕様のELVと「阿部興業」室内ドア、和室壁にわら聚楽とその他の壁に珪藻土の富士川建材工業、美容室の給湯熱源は東京ガス、衛生設備及び自宅用ユニットバスはTOTO、床材の一部にタキロンマテックス、各種金物は杉田エースと各社の製品を採用しましたが好評だったことを記し感謝いたします。



トツカーナを出て3階デッキから見た外観



北側6m通路からの見上げ

床構面に段差を有する建物の耐震診断

大和綾瀬支部 高橋 国彦

1階に車庫を持つ住宅では階高の関係で2階床面に段差が生じる場合がある。耐震診断テキストではこのようなケースは想定していない。現実にはこのような段差を無視して診断が行われている。事例を用いてその違いを検証してみる。例題ではY方向の2階水平構面に段差があるため3層となる。全体を2層とした場合と段差部分を3層とした場合それぞれの構造評点を求め、どちらか小さい方をその階の評点とする。

基準法施行令第88条による方法で段差床構面に作用する地震力を求める。

1・段差部を3層とし、床荷重負担ゾーン（断面図参照）を行って、各階に作用する鉛直重量W1（1階）、Wm2(中2階)、W2（2階）、それに相応する必要耐力1Qr、2mQr、2Qrを求める。

計算条件
建物基部 1階面積61.82㎡、2階面積49.68㎡、1階短辺5.46、長編9.10m
屋根荷重w=0.69kN/㎡、外壁モルタルw=0.95kN/㎡、内壁w=0.45kN/㎡
2階床w=0.6+0.6=1.2kN/㎡での計算結果は以下のようであった。
W2=22.94kN 2階部鉛直荷重（計算省略）
Wm2=23.42kN m2階部鉛直荷重（計算省略）
W1=19.53kN 1階部鉛直荷重（計算省略）

2・基準法施行令第88条による方法（テキストP265）Qr

$$Q_r = \sum W \cdot Z \cdot R_t \cdot A_i \cdot C_o \quad Z=1.0 \quad R_t=1.0 \quad C_o=0.20$$

$$A_i = 1 + (1/\sqrt{a_i - a_i}) \times 2T_1 + 3T$$

$$a_2 = W_2 / (W_2 + W_{m2} + W_1) = 22.94 / 65.89 = 0.35$$

$$a_{m2} = W_2 + W_{m2} / (W_2 + W_{m2} + W_1) = 46.36 / 65.89 = 0.70$$

$$a_1 = 1.0$$

$$T = 0.03 \times H = 0.03 \times 5.80 = 0.17 \quad A_i: \text{層せん断力の高さ方向の分布係数}$$

$$2 \times 0.17 / (1 + 3 \times 0.17) = 0.34 / 1.51 = 0.23 \quad T: \text{建物一次固有終期}$$

a: 重量分布係数

$$A_2 = 1 + (1/\sqrt{0.35 - 0.35}) \times 0.23 = 1 + 0.31 = 1.31$$

$$A_{m2} = 1 + (1/\sqrt{0.70 - 0.70}) \times 0.23 = 1 + 0.11 = 1.11$$

$$A_1 = 1.0$$

各階の必要耐力 2Qr、M2Q、1Qr

$$2Q_r = W_2 \times 1.31 \times 0.20 = 22.94 \times 1.31 \times 0.20 = 6.01 \text{ kN}$$

$$M_2Q_r = (W_2 + W_{m2}) \times 1.11 \times 0.20 = 46.36 \times 1.11 \times 0.20 = 10.29 \text{ kN}$$

$$1Q_r = (W_1 + W_{m2} + W_1) \times 1.0 \times 0.20 = 65.89 \times 1.0 \times 0.20 = 13.18 \text{ kN}$$

3・現状建物診断

低減係数Cfは接合部Ⅳ、基礎Ⅲの場合、筋交い金物なし

Y方向 X11通り各階の保有耐力、2Pd、m2Pd、1Pd

2階 Cf=0.7

$$2Pd = 1.20 \times 3.64 \times 0.7 = 3.06 \text{ kN}$$

$$2Pd / 2Q_r = 3.06 / 6.01 = 0.51 < 0.80 \text{ (全体評点)}$$

M2階 Cf=1.0

$$m2Pd = 1.20 \times 3.64 \times 1.0 = 4.37 \text{ kN}$$

$$m2Pd / m2Q_r = 4.37 / 10.29 = 0.42 < 0.80 \text{ (全体評点)}$$

1階 Cf=1.0、0.70

$$1Pd = 1.20 \times 0.91 \times 1.0 + 4.2 \times 0.91 \times 2 \times 0.70 = 6.44 \text{ kN}$$

$$1Pd / 1Q_r = 6.44 / 13.18 = 0.49 < 0.59 \text{ (全体評点)}$$

4・修正現状構造評点

		全体構造評点 Pd/Qr	段差部構造評点 Pd/Qr	修正構造評点 Pd/Qr	判定
2階	X	0.70	0.70	0.70	倒壊の可能性が高い
	Y	0.80	0.42	0.42	
1階	X	0.40	0.40	0.40	
	Y	0.59	0.49	0.49	

5・補強計画診断

低減係数Cfは接合部Ⅱ、基礎Ⅱの場合、筋交い金物あり。

全体構造評点とスキップフロア部評点のどちらか小さい方を採用する。

Y方向 X11通り各階の保有耐力、2Pd、m2Pd、1Pd

2階 Cf=0.35 0.60

$$2Q = 8.4 \times 0.91 \times 2 \times 0.35 + 2.5 \times 1.82 \times 0.60 = 8.08 \text{ kN}$$

$$2Pd / Q_r = 8.08 / 6.01 = 1.34 \geq 1.34 \text{ (全体評点)}$$

M2階 Cf=0.70 0.90

$$m2Q = 8.4 \times 0.91 \times 2 \times 0.70 + 2.5 \times 1.82 \times 0.90 = 14.80 \text{ kN}$$

$$m2Pd / Q_r = 14.80 / 10.29 = 1.44 > 1.34 \text{ (全体評点)}$$

1階 Cf=0.7

$$1Q = 8.4 \times 0.91 \times 3 \times 0.70 = 16.05 \text{ kN}$$

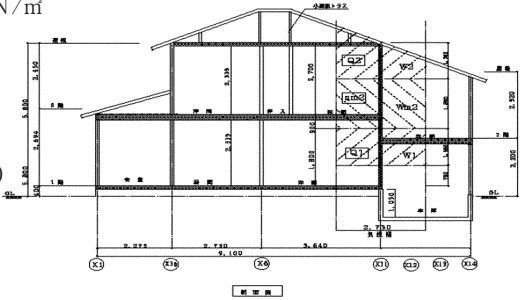
$$1Pd / Q_r = 16.05 / 13.18 = 1.22 < 1.25 \text{ (全体評点)}$$

6・修正補強計画構造評点

		全体構造評点 Pd/Qr	段差部構造評点 Pd/Q	修正構造評点 Pd/Q	判定
2階	X	1.39	1.39	1.39	一応倒しない
	Y	1.34	1.34	1.34	
1階	X	1.18	1.18	1.18	
	Y	1.25	1.22	1.22	

7・むすび

耐震診断法テキストでは、各層が水平で平面剛性が成り立つことを前提としている。事例のような床構面に段差がある場合や剛床が成り立たない場合などは診断仮定条件との違いを考慮してせん断力の集中等を別途補正する必要があるのではないだろうか。



例題断面図

設計の妥当性確認業務について

川崎支部 恩田 耕爾

設計の妥当性確認：

建築設計業務に関しては営業段階での顧客ニーズをもとに、事務所の責任者（管理建築士）が設計担当者（※アウトソース先を含めて）の決定を行ないます。意匠担当者が設計業務全体のコーディネーター役を遂行する場合が多いので、設計の初期段階で意匠担当者が施主と打合わせを行い、施主ニーズを把握します。この段階でいわゆる「設計計画書」が策定されます。 ※アウトソース先には構造設計事務所、設備設計事務所他があります。

設計の各段階のプロセスには「デザインレビュー」、「設計検証」、「妥当性確認」があり、それに付随して設計の各段階からの「変更管理」が出てきます。設計業務が設計者の独走によって思わぬ施主との認識のずれを起こさないためには設計の各段階での「妥当性確認」行為が求められます。設計の妥当性確認には顧客ニーズ及び規模等により、設計の各段階で行なわれる必要があります。竣工検査を兼ねて行ない、思わぬトラブルにならないように注意が必要となります。

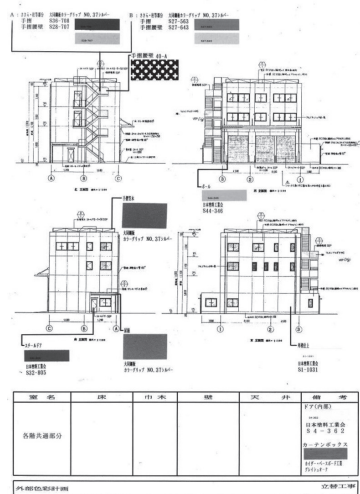
妥当性確認の時期は工事竣工間際に行なえばよいとの認識が一部にもたれているので、どのような業務があるのか思い出すと以下のようなことがされています。

妥当性確認業務：

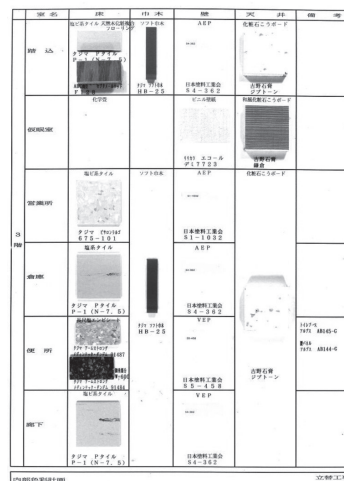
- ・他の類似した建築物の調査による確認：過去に完成した建築を施主に見せ理解を得る。
- ・コンピューターグラフィック利用による：構造の耐震、避難シミュレーション等
- ・模型・パースによるイメージ確認：ペーパー、発泡スチロール模型、内外のパース等
- ・部分試作による確認：原寸模型、部分模型等による確認
- ・実際の色・形による確認：色彩計画見本帳、材料見本及びモックアップ
色彩・材料は小さいと完成後の顧客の意図するものと異なる場合があります。
- ・性能試験による場合：気密試験、耐火試験、風圧試験、振動、起震機によるテスト他
- ・竣工前の各種検査：設備関連が事例として多い。
排煙設備、非常用照明、煙感知器、ドア、シャッター等はよく実施されている。

施主のニーズを把握して、その後のプレゼンの段階での顧客とのやり取りから、妥当性の確認業務が始まっています。工事が始まれば、施主立会いの、建築物の位置確認がされます。建物が完成してからその建築物が施主の期待するものと異なると、それを是正するのに大変な時間と費用がかかるので充分留意して取り組む必要があります。

ISO国際規格では7.3.5項に規定があります。ISO9001:2008年版では7.3.1設計・開発の計画の（注記）には、設計・開発のレビュー、検証及び妥当性確認は異なる目的を持っている。それらは、製品・サービス及び組織にとって適切に、分けて行なうか又はいずれかとの組み合わせで行い、記録することもできる。・・・とコメントされている。



－外部仕上表－



－内部仕上表－

「建築・住まいるフェスタ 2010」を終えて

相模原支部 西倉 哲夫

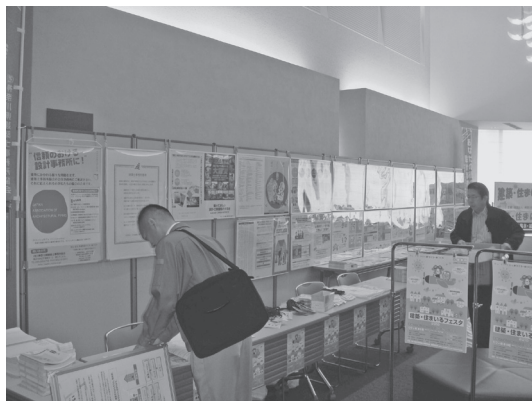
10月2日(土)にJR横浜線橋本駅前・ミウイ橋本内の8階杜のホール多目的室において相模原支部主催、横浜弁護士会相模原支部共催、相模原市・(株)建通新聞社・(株)神奈川建築確認検査機関(KBI)・東京電力(株)相模原支社の後援で「建築・住まいるフェスタ2010」を開催致しました。開催内容はセミナーを中心に各相談窓口や賛助会フェア、子どもイベントちびっ子広場に建築士事務所キャンペーンコーナーと盛りだくさんに行われました。セミナーは午前Ⅰ部が(株)神奈川建築確認検査機関様による確認申請の実務について行なわれ、Ⅱ部が相模原市まちづくり支援課様による「相模原市景観計画及び景観条例について」の説明が行なわれました。午後はインテリアコーディネーターの岡部美津子様による流行カラーとインテリアの関係等の心地よいインテリアについての講義が行なわれました。そのほかにセミナーコーナーで賛助会員各社によるエコをテーマにしたピーアールが行なわれフェアを盛り上げていただきました。相談コーナーでは「建築なんでも相談」、「建築トラブル苦情無料相談」、弁護士様による「建築トラブル法律無料相談」、建築士指導課様による『木造住宅耐震無料相談』、建築審査課様及びKBI様によ

る「建築士の為の実務相談」、本会「住・緑・家」運営委員会様による展示が実施されました。また、子どもイベントコーナーでは女性会員が主に担当したペーパークラフト模型作りが行なわれ、その他にクイズ・アンケート・パネル展示等が行なわれ幅広い内容で開催する事が出来ました。当日は天候に恵まれ心地よい一日でありましたが、会場が8階というせいも有ったのか、当初期待していたよりも入場者が少なかったと思います。事前に近隣の駅掲示板にポスターを掲示したり、相模原市建築指導課様を通じて公民館等にもポスターを置かせていただきましたが、効果が余りなかったのかと感じております。今後、いかにPRしていくか、方策を検討していかないといけないと痛感いたしました。来年は、本会のキャンペーン事業として相模原ブロックの担当となります。今年の経験を生かし、さらに良いフェスタにしたいと思います。どうか、会員の皆様、ご指導ご協力を宜しくお願いいたします。最後に、支部長はじめ支部役員の皆様ならびに支部会員の皆様、大変ご苦勞様でした。実行委員長として、感謝申し上げます。大変有難うございました。尚、以下に当日の写真を掲載いたしました。

7



支部長開会挨拶



キャンペーンパネル展示状況



賛助会フェア展示状況



賛助会フェア展示状況

平成22年度神事協スポーツ大会 ボーリング大会 報告

湘南ブロック 服部 綸子

10月16日(土) 午前、江ノ島ボウリングセンター 1、2階を借り切って開催。1組4名30レーンを使用、選手120名、応援組19人を交えて139人参加、靴とボウルのサイズを合わせ試合は定刻9時に始まった。

ストライクで響く拍手と歓声。残念そうに悔しそうに、全身でジェスチャー。スピーディな試合運びに前半は早く終わり小休憩となった。昔の勘を取り戻した後半は更に熱気を帯び、拍手も歓声も頻繁に、快進撃で終了。

入賞チームは表のとおり5組。会長からは10位賞、20位賞、女性への特別賞があった。個人トータルスクラッチ(ハンディ無しの点数)は8ゲーム368～116点だった。



ストライクか!!

湘南ブロックが担当した「今回の種目は幅広い年齢層の会員が参加できる企画であった」と上原会長の挨拶があった。何故なら、現在60代会員の青春時代にボーリングの爆発的ブーム、社会現象があり、2時間順番を待ってプレーするのが当たり前だった共通の記憶があるからだ。

当時の風景と様変わりして、カウントが電子化され誰もスコアカードを持っていない。個人名と点数が瞬時にピンの上にあるテレビ画面に映し出され、ボウラーの気分を盛り上げてくれる。

試合終了後の表彰式のためにトータル点、チームおよび個人の得点と順位など10分待たずにプリントアウトされたのである。

表彰式の後、11時にはその場で懇親会に入り、久しぶりのボーリング談義に花が咲いた。

懇親会の後は各グループで三々五々2次会へ散った。事故も無く暖かな秋日和だった。

(写真提供:鎌倉支部 菅原)

順位	チーム	ストライク/スペア	総合点数
1位	横浜B	27/22	1213
2位	相模原C	25/22	1196
3位	横須賀B	21/28	1165
4位	横須賀A	17/26	1115
5位	相模原B	14/33	1089
ブービー賞	横須賀D	7/13	785

入賞チームとトータルスクラッチ(8ゲーム)



懇親会会場で表彰式

? 旅のクイズ 第4回 ? ? ?

問題

日本最高の標高にある駅はどこでしょう。ロープウェーやゴンドラやケーブルカーの駅ではありません。駅から出て歩いてすぐにこれらの風景が見えてきます。駅名と標高をお答え下さい。

答えはメールまたはFAXにて神事協事務局までお寄せ下さい。正解者の中から抽選で御一人に3000円の図書券を差し上げます。(応募書式は問いません。)

(FAX:045-212-3807 E-mail:noguchi@j-kana.or.jp)

※締め切り:11月19日(金) 当選者は12月号にて発表予定です。

※広報情報委員と事務局員及び家族の方のご応募はご遠慮ください。

尚、前回(10月号)の正解は『旧富士銀行横浜支店』でした。応募総数3名の内、全員正解されました。そして、厳正なる抽選の結果、県西支部 ソシオ・アーキテクト 小林幸一様が当選されました。



前回の正解 旧富士銀行横浜支店

第35回建築士事務所全国大会 東京大会報告

会長 上原 伸一

大会テーマ『建築設計・工事監理業の確立に向けて』を掲げ、「質の高い建築の創造・維持の実現に向け、設計監理業を担う建築士事務所を法的に位置付ける建築士事務所法の制定を目指す」と宣言し、10月1日帝国ホテルでの建築士事務所全国大会が開催されました。三栖会長



はこの中で今大会を契機に建築士事務所法制定の取り組みを日事連全体で進める方針を示し、「資格者についての建築士法、建築物についての建築基準法、設計監理業務についての建築士事務所法の3つがそろって始めて良質な社会資本の整備が実現する」と発言。また、式典に先立って行われたシンポジウム「建築設計・工事監理業の確立に向けて～建築士事務所法はなぜ必要か～」では、パネリスト全員が建築士事務所法の必要性に賛同、今後は各单位会での同法の実現に向けた議論が活発化しそうです。

今年の全国大会にも神奈川会より多くの会



功労者表彰を受賞された
清水好夫会員

員（会場の都合で制限させていただきましたが）の皆様にご参加をいただきましたが、開催のための全国大会実行特別委員会の委員として吉川副会長と小林副会長にご活躍いただいたことと合わせ、この紙面をお借りして御礼申し上げます。また功労者表彰を受賞された清水好夫会員には、

心よりお慶び申し上げます。残念ながら日事連建築賞には神奈川会の受賞はありませんでしたが、同じ関東甲信越ブロックの茨城会横須賀会長が国土交通大臣賞を受賞されたことは身近な私たちに対し多いに励みになりました。また私事ですが、事務所勤務時代の同僚（といっても先輩なのですが）の芦原太郎さんがJIAの新しい会長として大会式典に列席されていたこと、記念パーティーで思いがけず高校時代の同級生（優秀賞を受賞されたゼネコン設計部）に声を掛けられたことなど、私にとっても思い出深い大会となりました。

いつものことですが、記念パーティー終了後は神奈川会の面々とまだまだ明るい中、サラリーマンで賑わう夕刻の巷に繰り出しましたが、佐藤光良会員の紹介の渋い居酒屋での懇親会には栃木会の佐々木副会長と東京会の西倉副会長も参加し大いに盛り上がったのは言うまでもありません。私はこの後更にもう一件寄った後、心地良い秋の夜風に酒で火照った体を晒しながら来年の福島大会へ想いを馳せ、帰路に着きました。



社団法人神奈川県建築士事務所協会 **平成 21・22 年度 第 9 回・理事会概要**

日 時：平成22年10月14日（木）

14：00～17：00

会 場：(社)神奈川県建築士事務所協会 2 階会議室

出席者：21名

- ・ 会長挨拶 上原会長
- ・ 定足数の確認を行い、理事25名中16名出席のため定款第32条により会議の成立を報告
- ・ 議事録署名人として白井・小幡両理事を選出

1 議決事項

（報告事項）

- 第1号報告 会員（9月）の入退会承認についての報告
- 第2号報告 (社)神奈川県建築士会既存建築物耐震委員会委員推薦についての報告
- 第3号報告 (財)建築技術教育普及センター 第1回普及事業助成についての報告
- 第4号報告 後援名義使用（4件）についての報告
- 第5号報告 建築士事務所登録についての報告

（審議事項）

- 第1号議案 正会員（10月）の入会について承認を求める件
- 第2号議案 平成23年度予算方針案について承認を求める件
- 第3号議案 「共済会規程」の一部改正の承認を求める件
- 第4号議案 横浜市消費者協会からの消費生活相談に伴う住宅の施工に関する調査、診断及び専門的助言に関する覚書締結について承認を求める件
- 第5号議案 木造特別委員会委員の辞任及び推薦について承認を求める件
- 第6号議案 ブロック支部委員会内規について承認を求める件
- 第7号議案 ボランティアスタッフの提案について承認を求める件
- 第8号議案 企画業務委員会委員の推薦について承認を求める件

2 報告事項

(1) 日事連報告

資料2－1により報告。

- 1) 総財務委員会（9/7、10/7）
- 2) 技術調査委員会（9/16）
- 3) 企画業務委員会（9/3）
- 4) 広報情報委員会（9/1、10/5）
- 5) ブロック支部委員会（8/19、9/15）
- 6) 支部長合同ブロック支部委員会（9/15）
- 7) 支部長合同ブロック支部委員会正副会長会（9/15）
- 8) 設計監理指導委員会（8/25、9/22）
- 9) 耐震診断業務特別委員会（開催なし）
- 10) 建築物耐震改修評価特別委員会（開催なし）
- 11) 「住・緑・家」運営特別委員会（8/26、9/2、9/24）
- 12) 木造特別委員会（9/3、10/8）
- 13) 委員長会（9/9）

(2) 各委員会報告

- 1) 弔事連絡網（案）について
- 2) 「建築基準法の見直しに関する検討会の座長中間取りまとめ案」について
- 3) 当協会策定の建築士事務所の業務報酬算定方法について
- 4) (財)建築技術教育普及センター 第2回普及事業助成募集開始について
- 5) 引火性溶剤を用いるドライクリーニングを営む工場に関わる建築基準法第48条の規定に基づく許可
- 6) 神事協フェアについて
- 7) 行事日程等について
- 8) 県西ブロックキャンペーン事業への委員派遣協力について

※詳細は当協会ホームページをご覧ください。

委員会活動報告

設計監理指導委員会

委員 加藤 一郎

月に一回程度の苦情相談業務は、相談者に起きたトラブルを通し、自分に起きた時のように感じながらお話を聞かせて頂いています。『こんな状況にならないようにしなければ』と、いつも心を正す機会になっている様です。会員の皆様にも、絶対にこんな関係になってほしくないと思う気持ちが、只今委員会で進めている『トラブルを避ける設計・工事監理業務委託契

約書のポイントと参考事例』（仮称）の作成のエネルギーになっています。身を守るリスク管理という視点だけでなく、クライアントとの些細なすれ違いから起きる摩擦を少しでも少なく出来るように、また普段の業務に活用しやすい様に実務者の視点でまとめています。もうしばらくお待ちください、委員全員で現在追い込み作業中です。

木造特別委員会

委員 鎌田 政人

現在の当委員会活動の主な作業は次の通りであります。各市町村の木造住宅耐震診断補助基準の現状調査、木造標準仕様書についての勉強会実施の検討、木造標準図の作成検討、木造住宅（耐震診断を含む）についてのQ & A作成及び設計事務所として行なわなければならない

書類等問題点の提起検討、木造建築の監理チェックリストの改訂について、等が現在の主な活動状況です。又、神事協フェアにおいては当委員会委員による「伝統工法に学ぶ自立循環型住宅」と題したセミナーも実施しました。

企画業務委員会

委員長 棕 茂廣

講習会実施報告

○「マンション等の大規模修繕業務対応事務所養成研修会」

平成22年8月31日 横浜市技能文化会館にて
（社団）マンションリフォーム技術協会会長

田邊邦男先生をお招きし大規模修繕の計画概要の講義をして頂きました。講習題名のごとく「マンション等の大規模修繕業務対応登録事務所」制度に登録したい事務所の必修講習会です。尚、登録して頂いた事務所は既に協会ホームページに公開されております。尚、登録事務所を含めて講習会を継続的に行いたいと思っておりますのでご参加ください。

○「神奈川県建築基準法取扱基準に関する講習会」

平成22年9月13日 横浜市技能文化会館にて
横浜市建築局指導部企画課 松本光司氏、川崎市まちづくり局指導部建築情報課 大場孝治氏を迎え講義して頂きました。講義内容は「面積・高さ及び階数等の算定方式」についてでした。また神奈川県県土整備部の金澤純子氏より県からのアナウンスを頂きました。

○「省エネ法に基づく届け出実務研修会」

平成22年9月27日 日本丸訓練センターにて
「省エネ法」の講習会は3月に行っておりますが、4月から届出が必要です。そこで、実務経験のある本会企画委員である(有)折笠幸男設計事務所の所長に具体例を基に届出のポイントについて講義して頂きました。

第11回 神事協 歌壇・俳壇

【俳句】

秋時雨傘をたたんで走りおり
豆柿に小鳥むらがる昼下がり
オニヤンマどいてどいてと陣地取り
曼珠沙華亡きし命の燃ゆるごと
塩釜は秋雨重くにぎり喰う
禪寺丸生まれし里や秋たわわ
お遍路や野辺ゆく道のすだち取り

(相模原文部 小林忠志)
(横浜支部 アキアカネ)
(横浜支部 アキアカネ)
(横浜支部 良酔)
(川崎支部 雲休)
(事務局 走友)
(事務局 走友)

【短歌】

國想い歴史想いしものふの想いとどかぬ心むなしき

ななかまどまぶしく赤く輝いて秋の訪れ告げ知らせるよ

朝靄が散歩の足音控えめに田んぼの畦道ゆつくり流れ

江の島につわものどもが集いけり返り見すれば竜宮の域

飲みすぎて頭が痛い帰り道疲れて眠る自販機のそば

(相模原文部 小林忠志)
(横浜支部 良光)
(横浜支部 良光)
(事務局 通勤人)
(事務局 酔々)

【川柳】

こりやなんだパソコン画面化けちゃった
糲袋のせて軽トラ走りゆく
野菜高松茸安く気が緩む

(横浜支部 良光)
(横浜支部 アキアカネ)
(川崎支部 雲休)

本の紹介

横浜支部 佐藤 光良

設計監理指導委員会の委員になる前から、何かと相談事をされる場合がありました。我々建築家にとって建築基準法は元より、民法も仕事に絡んでくることが多い法律です。その民法を調べようと六法全書を紐解いても、字はすごく小さいし文体は文語体に近い法文まであり、読み辛い事がおびただしく解釈するのに困ったことが何度もありました。そんな時にたまたま入った本屋の書棚でこの本を見つけました。法文が口語で書かれているのは当たり前として、注解が明解で非常に理解しやすい構成になっています。難しい注解には図が挿入されていて理解度を高めています。きっと役に立つ一冊になると思います。手元においてお役立て下さい。



会員異動報告

入会

横浜支部

(株)ルナパーク 内田 美知留
〒221-0843 横浜市神奈川区松ヶ丘35-705
TEL.045-324-7151 FAX.045-324-7157

(株)白川設計 白川 正孝
〒231-0058 横浜市中区弥生町5-48-2-201
TEL.045-250-3730 FAX.045-250-3740

相模原支部

ユリ建築設計事務所 佐藤 ユリ
〒252-0244 相模原市中央区田名8288-3
TEL.042-777-3974 FAX.042-777-3974

中村ホーム二級建築士事務所 中村 修治
〒252-0225 相模原市中央区緑ヶ丘2-28-7
TEL.042-815-3449 FAX.042-815-3449

退会

横浜支部

鈴木一級建築士設計事務所 鈴木 善雄

藤沢支部

成幸建設一級建築事務所 宮原 成幸

海老名支部

木内建設(株)一級建築士神奈川事務所 砂坂 雅幸

変更

横浜支部

(助)若葉台管理センター(旭・泉・瀬谷)
(会員名変更) 網島 和正

相模原支部

(有)志甫建築設計室
(所在地変更) 〒252-0314 相模原市南区南台3-13-15

賛助会会員異動報告

入会

(株)E&CS
〒102-8332 東京都千代田区三番町2
TEL.03-5276-2997 FAX.03-5276-2981
【代表者】石田 保明 【担当】吉田 亨
【業種】耐震補強設計、トグル制震装置の製作販売

(株)シェルター

〒101-0063 東京都千代田区神田淡路町2-3-12
安和淡路町ビル2F
TEL.03-5295-8811 FAX.03-5295-8818
【代表者】木村 一義 【担当】林 隆
【業種】木造軸組における接合金物を用いた構造設計、構造部材の販売

会 勢

平成22年10月18日現在

支部名	平成22年3月末日	現在	入会者	退会者	増減
横 浜	270	271	8	7	1
川 崎	94	91	2	5	-3
横 須 賀	57	55	0	2	-2
湘 南 三 浦	22	21	0	1	-1
藤 沢	21	21	1	1	0
鎌 倉	31	32	1	0	1
茅ヶ崎葉川	16	16	0	0	0
平 塚	21	20	0	1	-1
伊 勢 原	8	8	0	0	0
秦 野	17	17	0	0	0
大和綾瀬	22	23	1	0	1
厚 木	36	37	2	1	1
座 間	11	12	1	0	1
海 老 名	14	13	0	1	-1
愛 川	8	8	0	0	0
相 模 原	87	89	3	1	2
県 西	51	49	1	3	-2
合 計	786	783	20	23	-3
賛助会員	65	70	6	1	5

11月の行事予定

11月1日	広報情報委員会
2日	建築物耐震改修評価特別委員会
4日	総財務委員会
5日	企画業務委員会
	賛助会合宿事業計画検討会
6日	舟遊ツアー研修会
10日	「工事業者等の倒産に伴うトラブル対処法について」追加研修会 (会場：神事協会議室)
13日	神事協ワーキング
13日～14日	建築士事務所キャンペーン(会場：ダイナシティ小田原 ロビンソン百貨店内)
15日	JW-CAD(初心者向け)研修会(会場：県立東部総合職業技術校)
16日	木材に関する研修会(会場：情文ホール)
17日	ブロック支部委員会
	支部長合同ブロック支部委員会
18日	技術調査委員会
19日	正副会長会・委員長会
22日	JW-CAD(初心者向け)研修会(会場：県立東部総合職業技術校)
24日	設計監理指導委員会
29日	管理建築士講習(会場：パシフィコ横浜アネックスホール)
30日	JW-CAD(中級編)研修会(会場：県立東部総合職業技術校)
	建築物耐震改修評価特別委員会

編集後記

あの猛暑は何処へ行ってしまったのでしょうか。すっかり過ごしやすくなった毎日になってきましたが、皆さま体調は如何でしょうか。さて、会報誌KANAGAWAについてのアンケートを9月号に同封してお願いしたところ、合計55名の方から回答がありました。会員は元より賛助会、他の単位会や行政の方にまで回答を戴き厚くお礼を申し上げます。貴重なご意見を今後の会報誌作成に充分に生かすべく、先日の委員会は今まで以上に熱中した会議でした。皆様に読まれなくては創っている意味がありません。役に立ち興味を引く記事を書けるべく今後も務めて参ります。アンケート回答者のうちから抽選で下記の3名の方に記念品をお送りいたしました。以上ご報告とお礼を申し上げますとともに、今後も何卒ご愛読下さいますようお願い申し上げます。

藤沢支部 小寺真史様、鎌倉支部 服部倫子様、賛助会 土木管理総合試験所 倉石純哉様 以上の3名様です。

(広報情報委員長 佐藤 光良)

かながわ 平成22年11月号(通号349号)

定価420円(消費税込)

発行 平成22年11月1日(毎月1日発行)
 発行人 上原 伸一
 発行所 社団法人 神奈川県建築士事務所協会
 〒231-0032 横浜市中区不老町3-12
 第3不二ビル2F
 TEL. 045-228-0755
 FAX. 045-212-3807
 印刷所 株式会社 柏苑社

： 担 当 副 会 長 小林 忠志
 ： 広 報 情 報 委 員 長 佐藤 光良
 ： 広 報 情 報 副 委 員 長 吉田 宣郎
 ： 広 報 情 報 委 員 稲葉 勉
 ： 恩田 耕爾
 ： 後藤かをり
 ： 竹尾 秀一
 ： 野口 友弘
 ： 事 務 局
 ： 川 島 良夫
 ： 遠藤 世一
 ： 小泉 厚
 ： 杉崎 雅治
 ： 新倉 良一

ウインドウフィルムでできる 耐震と省エネ。

窓ガラスの飛散防止効果

JIS A 5759の規格を満足。万一地震などの災害時にガラスが割れても飛び散らず、鋭いガラス片によるケガを防ぎます。

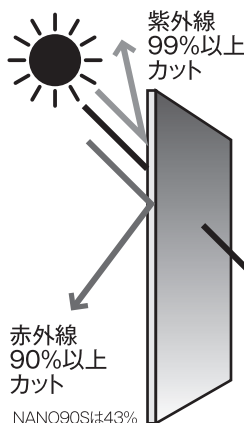


フィルムあり



ガラスのみ

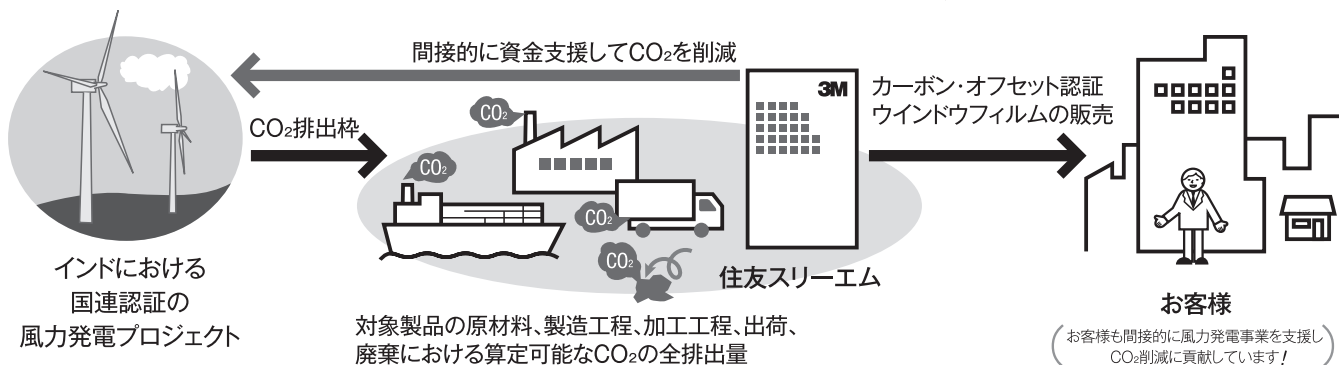
空調負荷軽減による省エネ効果



高分子膜を200層以上積層した3MTM スコッチティントTM ウインドウフィルム Nanoシリーズが熱線をコントロールします。



住友スリーエムは、
カーボン・オフセット認証ウインドウフィルムの販売により
国連認証の風力発電事業を支援しています。



対象製品 建材では初めてのカーボン・オフセット認証製品です。

3MTM スコッチティントTM ウインドウフィルム

マルチレイヤー NANO70S / NANO80S / NANO90S

透明飛散防止 SH2CLAR

※SH2CLARの1829mm幅は対象外です。

3MTM ファサラTM ガラスシェード ミルキーホワイト SH2MAML

カーボン・オフセットの取組に対し環境省基準によるカーボン・オフセット認証ラベルを取得しています。

カーボン・オフセット認証ラベルは、グリーン購入法の基本方針において「環境負担の低減に資する物品等を調達する際に参考にする」と規定されています。

住友スリーエムはカーボン・オフセットにかかる費用を全額負担し、製品価格への上乗せは行いません。

3M、スコッチティント、ファサラは、3M社の商標です。



住友スリーエム株式会社
コンストラクションマーケット事業部

お問い合わせは、住友スリーエム特約店 サンマルコ株式会社

神奈川県相模原市緑区西橋本5-4-30 507号
<http://www.sunmaruko.co.jp/>



フリーボイス電話番号 0120-963-305

受付時間平日 AM9:00~12:00 PM13:00~17:00

工場・事務所向トイレ

高級感・快適さとお手軽さを
お届けします!

トイレのお悩み一挙解決!

「今までに、工場・事業所の方からトイレについて、
こんなお悩みを聞いてきました。」

- 建物の中のトイレを直すとお金がかかる。
- 建物内のトイレはあまり使われたくない。
- 大規模の高い価格のトイレはいらない。
- 女性用としてデザインが良く、おしゃれなトイレをつけたい。
- いかにも【仮設トイレ】というのはいやだ。

工場・事業所向【エポックトイレ】が
これらの問題を解決します!

point 1 低コスト!

仮設等本格的に建設するものとは違い、限りなく低コストを追求・実現しました!

point 2 短工期!

ユニット式だから、業種に支障をきたすことなく、短い工期で設置できます!

point 3 おしゃれなデザイン!

先進工業デザイナーの注視された美観のデザインで女性にも大人気です!

point 4 広々室内で安心の使用感!

室内高 2,233mmでゆとりの広間。安心してご利用頂ける広さです!



TU-EP (1室タイプ)

- 兼用 TU-EP1J-Y
便器セット標準価格...**630,000円**(税別)
661,500円(税込)
- 洋式 TU-EP1W-Y
便器セット標準価格...**646,000円**(税別)
678,300円(税込)
- 外寸(mm) H2,478×L1,066×W1,901

TU-EP (1室タイプ)

- 兼用 TU-EP1J-T
便器セット標準価格...**630,000円**(税別)
661,500円(税込)
- 洋式 TU-EP1W-T
便器セット標準価格...**646,000円**(税別)
678,300円(税込)
- 外寸(mm) H2,478×L1,601×W1,066



TU-EP (2室・両用男女別タイプ)

- 手洗+兼用 TU-EPMJ
便器セット標準価格...**851,000円**(税別)
893,550円(税込)
- 手洗+洋式 TU-EPMW
便器セット標準価格...**867,000円**(税別)
910,350円(税込)
- 外寸(mm) H2,478×L1,451×W2,036

TU-EP (2室・左側小便室タイプ)

- 小便+兼用 TU-EP5J
便器セット標準価格...**856,000円**(税別)
898,600円(税込)
- 小便+洋式 TU-EP5W
便器セット標準価格...**872,000円**(税別)
915,600円(税込)
- 外寸(mm) H2,478×L1,451×W2,036



株式会社 **ハマネツ** 横浜営業所

横浜市港北区新横浜 2-11-5 川浅ビル 5F

tel 045-473-3388 fax 045-473-3315

E-mail f-komatsu@hamanetsu.co.jp 担当: 小松

賛助会会員の皆様へ 以下大募集中です!!

- ◆ 賛助会ホームページ <http://navi.nikkori-house.jp/kanagawa-sanjokai/Default.aspx>
(「神奈川県建築士事務所協会HP」のトップページ→「神奈川賛助会」から入れます)
本会の先生方限定のお得な情報(会員様限定の割引価格などなど)をHPに掲載(掲載費無料)

- ◆ 会報『kanagawa』原稿

こちらのページを新商品、新工法、また企業のPRにご活用ください!! (掲載費無料)

お問い合わせは...担当: 広報委員 西村真一 (三洋工業株式会社)

TEL: 03-3685-3452 Mail: shi-nishimura@sanyo-industries.co.jp